

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	岡山県立岡山 大安寺中等教育学校	実践者名	蒲生 信博
教科等	道徳	学年	第3学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	家族愛・家庭生活の充実〔中学校C (14) 〕		
単元・内容等	スダチの苗木（廣済堂あかつき）		
児童生徒の実態 （端末活用頻度 等）	道徳の授業では、毎時間端末を活用している。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
（1）導入の際「スダチ」をスクリーンに 写し「かぼす」や「ゆず」などの柑橘類との違いを見せて、興味・関心をもたせた。 （2）発問をすべて Forms で行い、集めた生徒の反応をスクリーン上で、クラスで共有する。 上記のような Forms を授業前に発問ごとに作成しておく。フォーマットを決めておけば、発問の箇所を入力するだけなので、1発問1分くらいで作成することができる。			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
- Forms で意見を集めると、自動でグラフを作成するので、簡単なアンケートもすぐできる。 - クラス全員の意見を集約することができるので、1つの発問に対して必ず全員が反応することになる。 - 全員の入力を待って、それをすべてスクリーン上で確認すると、発問は3つが限度である。		挙手して発言したい生徒も多いが、気後れして自分の考えを表現できない生徒もいる。そのような生徒には、自分の意見をスクリーンで紹介されるので良い反応を示している。	